

困り事話して彦根に教室



南彦根教室で責任者を務める木村さん＝彦根市平田町で

木村さん「経験伝えたい」

発達障害や不登校の子どもの支援がとまざる民間会社「アットスクール」の南彦根教室が、彦根市平田町にオープンした。教室の責任者で、自身も発達障害の二人の子を持つ木村友菜さん(四三)＝同市西今町＝は「子どもや保護者の困り事を解決する場になれば」と力を込める。(木造康博)

民間会社 アットスクール 発達障害や不登校の子支援

万里の長城です。長城の上からはモンゴルや中国が小さく見えて、小さな悩みなんじょうでもよくなってしまうからで



ず。万里の長城はすてきな場所でも心のモヤモヤが消えてすっきりします。豊郷町日栄小6年 谷 ゆかりさん

木村さんは二十九歳の時に離婚し、女手一つで二人の子育てと仕事を両立してきた。長女風穂さんは二十歳、長男奎吾さんは十八歳になる。

当初は、司法書士を目指して五年間ほど勉強を続けたが断念。時間の自由が利く営業職を探し、二〇〇五年に保険会社に就職した。だが働き続けるうちに体に異変を感じ、七年ほど前に子宮頸がんを発症。当時小学六年だった奎吾さんの運動会に出るため「死ぬ訳はいかない」と手術を受けた。

その後、奎吾さんが中学二年で不登校になり、家出をするこも。木村さんは専門家に相談したが、解決策が思いだせない中、あるセミナーで「気づけ」を主とするアトラ心理学を知った。実践していくと、奎吾さんが学校に通うようになった。

「子育ては親の責任。私の経験を伝えていかなければ」と、月一回ほど勉強会を開くようになった。

草津市に本部校を構え、個別指導や家庭教師を派遣するアットスクールのフランチャイズ展開を始めた。これを知り、開設を決意した木村さんは教室を運営する会社「andante(アンダンテ)」を設立。日本政策金融公庫や滋賀中央信用金庫から融資を受けて今年三月、マンションの一室で南彦根教室を始めた。これまで湖東、湖北地域の小学生から高校生まで十人ほどが訪れている。木村さんは「子どもの能力を伸ばすのは大人次第。子どもが自立していく力を養っていきたい」と話す。アットスクール南彦根教室＝0749(30)9905